KeTMathの使い方

高遠節夫

KETCindy センター 2021.10.27

数式の簡易記法と KeTMath

数式の簡易記法 1

- 分数 $\frac{a}{b} \Longrightarrow fr(a,b), (a)/(b)$ 注) 小さい分数 tfr(a,b)
- 掛け算 $ab \Longrightarrow ab$
- ullet べき乗 $a^b \Longrightarrow a^(b)$ 注)b が 1 文字の場合は a^b も可
- べき乗根 \sqrt{a} , $\sqrt[3]{a}$ \Longrightarrow sq(a), sq(3,a)
- 三角関数 $\sin x, \sin^2 x \implies \sin(x), \sin(2,x)$
- 円周率 $\pi \Longrightarrow pi$
- 対数関数 $\log x, \log_a x \implies \log(x), \log(a,x)$ 注) $\ln(x)$ も可
- 立体 $\cosh x \implies \operatorname{tx}(\cosh)(\operatorname{sp})x$ 注) (sp) はスペース
- ◆ 文字定数 (変数) は1文字とする.
- 改行は //
- 全角文字を混ぜてもよい. 例) 方程式 x^2+2x-3=0 の解は x=1,-3

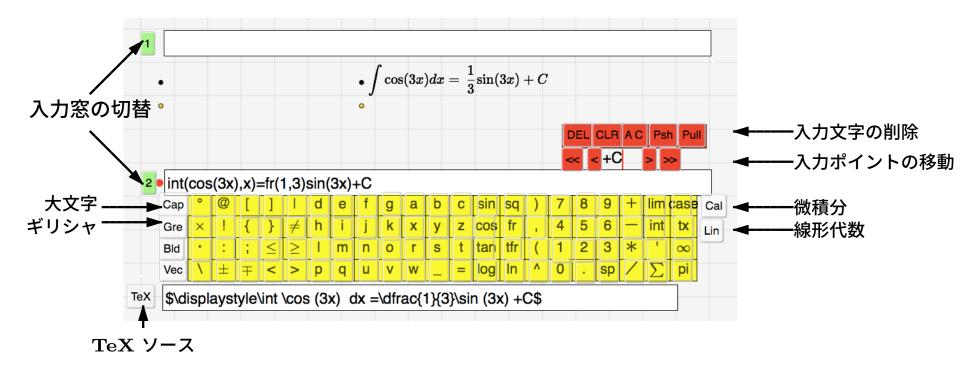
数式の簡易記法 2

• 積分
$$\int x^2 dx, \int_a^b x^2 dx \implies \operatorname{int}(x^2,x), \operatorname{int}(a,b,x^2,x)$$

- ブラケット $\left[f(x)\right]_a^b \Longrightarrow \mathrm{br}(\mathrm{f}(\mathrm{x}),\mathrm{a,b})$
- 極限 $\lim_{x \to a} f(x) \Longrightarrow \lim(x,a,f(x))$ () は自動判定するが,強制的に ()を外すとき式の先頭に! $\sum_{k=1}^n k^2 \Longrightarrow \sup(k=1,n,k^2)$ ()をつけるとき式の先頭に!! $\inf(!x+y,x)$
- 微分·偏微分 $\frac{dy}{dx}$, $\frac{\partial z}{\partial x}$ \Longrightarrow diff(y,x), par(z,x)
- 行列・行列式 $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$, $\begin{vmatrix} a & b \\ c & d \end{vmatrix} \Longrightarrow \max(\mathtt{a},\mathtt{b};\mathtt{c},\mathtt{d}), \det(\mathtt{a},\mathtt{b};\mathtt{c},\mathtt{d})$
- 場合分け $\begin{cases} a & (x < 0) \\ c & (x > 0) \end{cases}$ \Longrightarrow case(a,(x<0);c,(x(geq)0))

KeTMath(数式入力アプリ)

- https://s-takato.github.io/ketcindysample/ketmath/offline/ketmathjsoffL.html
 - samples of ketcindy > ketmath system に行けばよい.
- キーボードにより簡易数式を入力することができる
 - ・TEX 数式(TeX ボタンを押すとソースも)が表示される.



KeTMath による課題処理

準備

- (1) サブフォルダ data を作成する.
- (2) 学生リスト (txt または csv) を作成して data に入れる.
 - txt の場合ファイル名は student2021.txt などとして,1 行ずつ名前を入れる.
- (3) 問題と正解のファイル queans(+date).txt を作成して data に入れる. 詳細は次ページに記述

問題と解答の作成 (queans)

タイトル行 Q...
 問題文
 小問(番号は[1]...)
 Sheet
 解答欄の作成
 Ans
 解答
 1行空白行をおく

- 1 つの問題に複数の選択肢を与えるときは::(ダブルコロン)で区切る.
- ファイル名は queans1030(=date).txt などとして data に入れる.

問題と解答の作成例

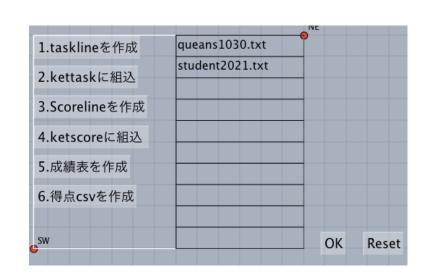
```
Q09271
次を求めよ,
[1] int(x^4,x)::int(x^5,x)
[2] int(0,2,x^4,x)::int(0,2,x^5,x)
Sheet
[1]=
[2]=
Ans
[1]fr(1,5)x^5+C::fr(1,6)x^6+C
[2]br(fr(1,5)x<sup>5</sup>,0,2)=fr(32,5)::fr(32,5)
  (空白行)
Q09272
int(0,1,2x+1,x) を求めよ. ::int(0,1,x+1,x) を求めよ.
Sheet
Ans
2::3
  (空白行)
```

問題と解答の作成例 (続)

```
Q09273
sin(fr(pi),2)=1, sin(fr(pi))=0 を用いて//次の定積分を求めよ.
[1] int(0,tfr(pi,2),2cos(x),x)
[2]int(0,pi,3sin(x),x)
Sheet
[1]=
[2]=
Ans
[1]2
[2]6
  (空白行)
Q09274
int(0,1,e^x,x) を計算せよ
Sheet
=
Ans
e-1
```

taskline.txt の作成

- toolketmath.cdy を立ち上げる.
- 「1.taskline を作成」のボタンを押す.
 queans, student のファイル表示.
- それらのファイルを順にクリック 右下にファイル名が表示される。

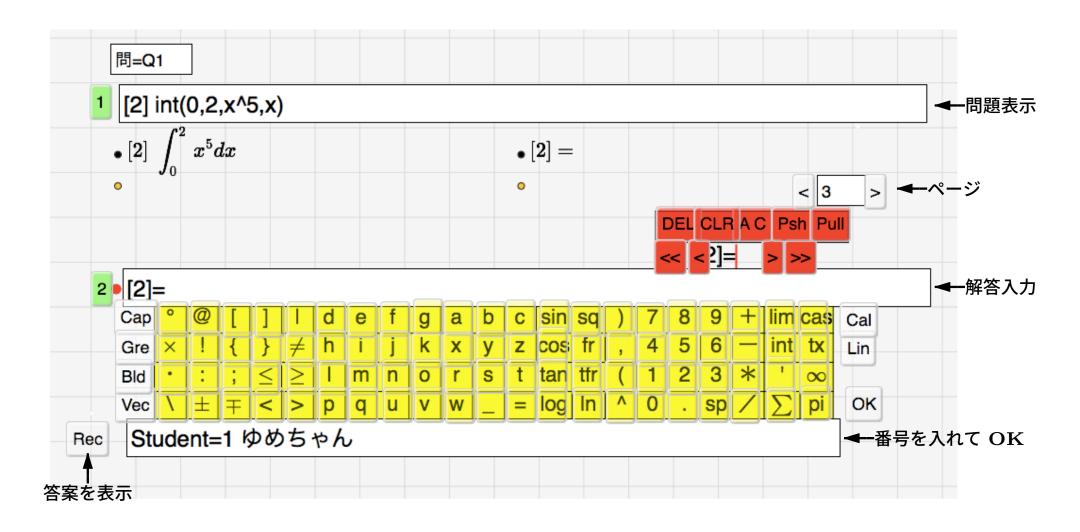


- OK ボタンを押す.
 - taskline のテキストファイルが data に作成される。注)ファイル名には quans の日付が付加される。
 - ・青字で taskline のファイル名が表示される.
 - ・学生の解答を入れる stans(+date).txt というファイルができる
- toolketmath.cdy は立ち上げたままにしておく.

kettask.html の作成と出題

- toolketmath.cdy を立ち上げる (終了した場合).
- 「2.kettask に組込」のボタンを押す.
 - ・kettaskorg.htmlとtaskline(+date).txtのファイルが表示される.
- それらのファイルを順にクリック
 - 右下にファイル名が表示される。
- OK ボタンを押す.
 - ・kettask(+date).html が Dircdy に作成される.
 - 注)ketaskorg に taskline を挿入した課題ファイル (html) である.
- このファイルを web サイトにおき、リンク先を学生に知らせる。
 - これが出題になる。

kettask の画面



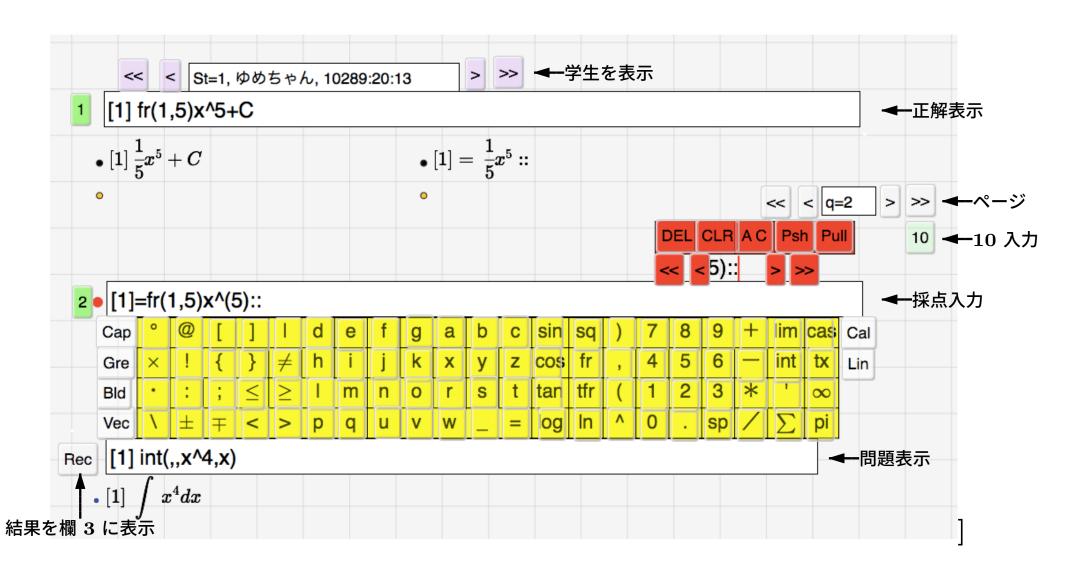
学生による解答と提出

- 配付されたリンク先をクリック
- 欄 3 の Student=の後に番号をキーボードで入力して OK を押す.
- 名前を確認して解答用の欄 2 に答えを入力
- ◆ 赤いボタンの上の窓にページ番号が表示される.
 - ・白い矢印を押してページ番号をを変えて.回答する.
 - ・「―」のあるページには入力できない.
- 解答が終わったら、「Rec」ボタンを押すと欄3にすべての解答が入る.
- 「すべてを選択」>「コピー」
- 提出用の欄などにペーストして送信する

採点

- 提出された解答を stans(+date).txt にコピーする.
 - ・GoogleClassroom のデータをそのままコピペしてもよい.
 - ・不要な行の削除やソーティングは KeTMath が行う.
- toolketmath.cdy を立ち上げる
 - ・「3.scorline を作成」のボタンを押す.
 - ・表示されるファイルを順にクリックして,OK を押す.
 - scoreline(+date).txt と scoredata.txt ができる.
 - •「4.ketscore に組込」を押して ketscore(+date).html を作る.
- ketscore(+date).html を立ち上げる
 - ・上の紫ボタンで学生番号,赤ボタンの上のボタンで問題番号を変える.
 - ・ダブルコロンの後に点数をキーボードで入れる.
 - ・採点が済んだら Rec を押し、欄 3 を scoredata.txt にコピペする

ketscore の画面



配付用成績表と得点一覧ファイルの作成

- toolketmath.cdy を立ち上げる.
- 「5. 成績票を作成」
 - ・data/card に各学生の成績票
 - ・data にすべての成績票をまとめた alldata(+date).txt
- 「6. 得点 csv を作成」
 - ・data に得点データの csv ファイル tablescore(+date).csv